

小樽港湾事務所内みなとの資料コーナーを特別開放

～「炭鉄港 3-DAYS Weekender」に参加します～

小樽開発建設部は「炭鉄港3-DAYS Weekender」に参加し、令和8年10月10日（土）小樽港湾事務所内みなとの資料コーナーの特別開放を行います。

「炭鉄港 3-DAYS Weekender」は、炭鉄港推進協議会が主催し、炭鉄港地域へのさらなる誘客促進及び地域内での普及啓発を目的として、関係団体が集中的に行うイベントです。

小樽開発建設部はこのイベントの1つとして、炭鉄港を構成する小樽港の築港工事を指揮した初代所長廣井勇博士の防波堤建設に関する資料、写真、書籍等を収めた「みなとの資料コーナー」を特別開放し、「炭鉄港3-DAYS Weekender」を盛り上げます。

また、みなと資料館では、廣井勇博士に関する展示のほか、令和8年1月15日に北海道開発局の土木構造物として初めて国の重要文化財に指定された小樽港防波堤施設（北防波堤、南防波堤、島防波堤）に関する資料もご覧いただけます。ぜひこの機会にご参加ください。

通常は平日のみの開館ですが、イベントに合わせて特別開放し、回数限定でガイドを実施します。
※「炭鉄港（たんてつこう）」とは、空知の石炭（炭）、室蘭の鉄鋼（鉄）、小樽の港湾（港）を、それらを結ぶ鉄道でつないだ、北海道の産業革命を支えた一連の歴史と産業遺産群のことです。

記

日 時： 令和8年10月10日（土） 12:00～16:00

※13:00、14:00、15:00 から職員によるガイドを行います（全3回）

（事前の申し込みは不要です。ガイドを希望されない場合も自由に見学できます。【入場無料】）

場 所： 小樽港湾事務所内 みなとの資料コーナー

（小樽市築港2-2、小樽築港駅徒歩10分、駐車場約30台）

※詳しくは、炭鉄港推進協議会のホームページをご覧ください。

https://3city.net/3days_2026/

また、みなとの資料コーナーの概要については、小樽開発建設部のホームページに掲載しています。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/tikkou/vu2t.jq0000001lau.html>

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

小樽港湾事務所 副所長 河合 浩 （0134-22-6131）

築港課 海洋利用対策官 水口 陽介 （0134-23-5214）

（小樽開発建設部ホームページ） <http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>





炭鉄港3DAYS イベント情報はこちら↓から
**3-DAYS
Weekender**



小樽港湾事務所内 みなとの資料コーナー 特別開放

明治時代に小樽港の築港工事を統括した「港湾工学の父」廣井勇の功績を称え、小樽港建設の歴史を振り返ることができる施設です。貴重な資料、写真、模型や実際に使用されていた器具などを展示しているほか、ビデオ上映により先人たちの知恵と努力によって築かれた小樽港建設の歩みに触れることができます。また、国の重要文化財に指定された小樽港防波堤施設（北防波堤、南防波堤、島防波堤）に関する資料や展示もご覧いただけます。

通常は平日のみの開館ですが炭鉄港3DAYSに合わせて特別開放します。

令和8年**10月10日(土)**

12時から
16時まで

職員による特別ガイド

入館料:無料!!

13時,14時,15時～ ◆事前申込不要◆ <ガイドなしで自由見学可能>



当日の混雑状況により入館を制限させていただく場合がありますのでご了承ください。

主催：国土交通省北海道開発局小樽開発建設部小樽港湾事務所
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/tikkou/vu2tjq0000001lau.html>